

PCBを使用して製造された電機機器等の判定基準表(ご参考)

当社が処理受託できるPCB廃棄物は、PCBの使用を前提として設計・製造された大型電気機器等(以下「PCB使用機器」といいます。)であって、一般に微量PCB廃棄物、コンタミ廃棄物や低濃度PCB廃棄物と呼ばれている、非意図的にPCBに汚染された機器等(以下「微量PCB廃棄物」といいます。)については処理及び登録の対象外とさせていただきます。

一般にPCB使用機器には高濃度のPCBが使用されており、トランス類であれば油量の50から60%、コンデンサ類であれば100%に相当するPCBが含まれていると考えられます。これに対し、微量PCB廃棄物に含まれるPCBの量は数ppmから数十ppm程度(1ppmは0.0001%)と非常に低い値となります。

PCB使用機器の判別方法のうち、主要なものとしては以下の方法がありますが、製造年だけではPCB判定が確定できない場合がありますので、必ず、型式や銘板記載事項により、確認していただくようご注意ください。

I. 製造時期による判別

PCB使用機器の判別の方法として、機器の製造年によるものがあります。メーカーによって若干の差はありますが、基本的には下表のような状況となっています。主に昭和30年から昭和47年にかけて製造された機器等にPCB使用機器が多数存在します。ただし、PCBが製造・使用されていた時期に製造された機器等であってもPCBを使用していない機器が存在することにご留意ください。

時期	状況
昭和5年以前	PCBが実用化されていない
昭和6年～昭和27年頃	海外メーカーがPCB使用機器を実用化
昭和28年～昭和30年頃	国内メーカーが海外からPCB油を輸入してPCB使用機器を製造
昭和30年～昭和47年	国産PCB製造開始により、国内メーカーによるPCB使用機器の製造が全盛
昭和48年～昭和49年頃	PCBの製造使用が中止され、一部の鉄道用機器のみ新規の製造が継続
昭和50年以降	新規のPCB使用機器の製造が完全に中止

II. 機器種別による判別

PCBが製造・使用されていた時期に製造された機器等であっても、機器種別によってはPCB使用機器でない可能性が非常に高いと思われるものも存在します。以下に種別毎に状況を整理します。

機器大分類	機器細分類	PCB使用機器の分布状況
トランス類	高圧トランス、低圧トランス	PCB使用機器が多数存在しますが、同時にPCBを使用していない機器もまた多数存在します
	リアクトル	
	計器用変成器	
	放電コイル	
	整流器	
	開閉器	PCB使用機器ではない可能性が非常に高いと思われますが、専門の分析機関で分析を行ってください。
	遮断機	
コンデンサ類	高圧コンデンサ、低圧コンデンサ	PCB使用機器が多数存在しますが、同時にPCBを使用していない機器も存在します
	サージアブソーバ	

III. メーカー別判断基準

製造年や機器種別だけでは、PCB使用機器である可能性があることがわかっていても、最終的な判断材料とはなりません。国内主要メーカーが提供している機種別の判断基準により、確度の高い判断が可能となります。表の「PCB確定」欄に記載ある文字列が銘板等に表示されているものについては、PCB使用機器であることが確認できます。逆に「NON PCB又は微量PCB廃棄物」欄(ここではPCBを使用していない機器を単に「NON PCB」としています。)に記載のある文字列が銘板等に表示されているものについては、少なくともメーカーがPCBの使用を前提に設計・製造したものでないことが確認できます。

以下にメーカー別PCB使用機器判断基準を示します。なお、これらは各メーカーが提供しているものであり、今後追加・変更等がありうることを申し添えます。

メーカー別機器判別表（取得年月：2011-2-15）

三菱電機

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度PCB機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 ダイヤクロール	

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度PCB機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	KL-1 KUP KL-2 KAP KL-3 KBP KUF KEP KAF KTP KBF KAL KEF KGL	KT KUS KBU KOS KP KAS KL-4 など
リアクトル	Z313655 Z313656 Z313657 Z313658 Z377819	
トランス	型式からの判別は不可 (銘板に「不燃性油入」の表示)	
計器用変圧器，計器用変流器	FH CNF CSF CLF CF TA THF HSF	

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度PCB機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。

＜メーカー問い合わせ先＞（2000kVA以下）052-712-1581（2000kVA超過）0791-46-2384

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

東芝（東京芝浦電気）

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 シバノール	MP 式（コンデンサ）

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	S〇〇-〇〇〇 (S R, S R R, S R T, S R T R など) P F C D C D	O R, O R R, O R T, O R T R, A R, A R R, A R T, A R T R, B R, B R R, B R T, B R T R, C R, C R R, C R T, C R T R, E R, E R R, E R T, E R T R, H R, H R R, H R T, H R T R など) M S
リアクトル・放電コイル	〇〇〇-S〇〇 (X T R-S M 3 0 など)	
トランス	S〇〇-〇〇〇 (S C, S C R, S H C, S C F, S C T H, S C T W, S C T, S C T R など) E P T-S〇〇 (E P T-S M 1 0 A など)	H C, O P, C W, F H, F P, F C, P S, P T など) S I 〇〇-〇〇〇 H C T R-S〇〇 H C R-S〇〇 S H-〇〇〇(1973年製以降)
計器用変圧器, 計器用変流器	〇〇〇-S〇〇 (A M-S M 2 0 B など)	

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

4. 製造年月からの判別

機器の種類	P C B の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 7 2 (S47) 年まで	1 9 7 3 年 (S48) 以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。

＜メーカー問い合わせ先＞03-3457-4117

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

機器の種類	高濃度PCB機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 ヒタフネン	MP式(コンデンサ) PF式(コンデンサ)

機器の種類	高濃度PCB機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	型式中に「J」 TPB	(SOB-YDC, SOU-YDCRなど)
トランス	型式は「型」と「式」の構成で、 ○○・×× 又は ○○-×× 型 式 型 式 型中に「J」 (HBJ-DYCE、HGJ-YYCC など)	(SOB-YDC、SOU-YDCR など) ※トランスの場合、式中の「J」は PCB非該当(SI・ J3-70) 型 式 ※トランス以外の場合は不明
リアクトル		
計器用変圧器 計器用変流器		

機器の種類	高濃度PCB機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可(メーカー調査が必要)	

＜メーカー問い合わせ先＞ 0294-55-1130

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃油 不燃性油	

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
トランス	不可	

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

4. 製造年月からの判別

機器の種類	P C B の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 5 5 年 (S30) から 1 9 7 2 年 (S47) まで	1 9 7 3 年 (S48) 以降

【注】

『溶接機』（型式KPU-1000、KPC-500、KRC-500等多数）の中で昭和47年(1972年)以前に生産されたものは、PCBを含有したコンデンサを使用しているものがあります。

詳しくは下記連絡先又はダイヘンのホームページ(http://www.daihen.co.jp/environment02/env_40.html)で該当型式等をご確認ください。

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。

＜メーカー問い合わせ先＞06-6390-5513

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	不燃性油 D F 式 D F C A P A C I T O R D F C O N D	乾式 M P 式 S H 式 M P C A P A C I T O R M P C O N D

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器			非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	L V - 1	H F T	R W O	H E T
	P P A	H T G	R Z O	H E S
	P L	K K	S A K	K O D
	D F	K L	S A S	P F
	A K	K T D	S T D	P H F
	A L	K T M	S T M	P P M
	B K	K T Q	S T Q	P P K
	B L	K T T	S T T	P O M P
	C K	K T U	S T U	R H K
	C L	T H K	T H S	S O D
	D K	R A K	Z A	S O M
	D L	R A S	Z H	T M D
	F K	R D F	Z J	T M P
	F L	R M O	P (右の『非PCB又は微量PCB機器』の型式は除く)	L V - 2、3、4、5
	L O W V A C (1972年6月まで。それ以降は非高濃度)			
リアクトル 放電コイル	NON・PCB又は微量PCB機器			

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可 (メーカー調査が必要)	

4. 製造年月からの判別

機器の種類	P C B の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 6 0 年 (S35) 代から 1 9 7 2 年まで	1 9 7 3 年 (S48) 以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。

＜メーカー問い合わせ先＞0120-888-453

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

ニチコン（日本コンデンサ，関西二井製作所）

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度PCB機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	DF式 不燃性油	OF式 MP式

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度PCB機器		非PCB又は微量PCB機器	
	DF式		OF式	MP式
進相低圧コンデンサ	SPF・TPF		PFC	MPF・EMP・FMP
高圧・特別高圧 コンデンサ	電力用	SPF・TPF TPA・TPB TPE	PFC	
	サージ吸収用	SAT	SAC	
	電気炉用	TPA・TPB TPE・TPF	PFC HOC	
電気機器用 コンデンサ	一般 機器用	TPF・SF TCS・TCB TE・TEB SFAI・TPEI TPFI・AIB		NMP・RMP・OMP EMP・FMP・MC PMC・ESS・MSA PSS・PFS・CSM CSP
	特殊用		OB・OSC OCB	
リアクトル	SRD		SR	

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度PCB機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

4. 製造年月からの判別

機器の種類	PCBの可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1972年(S47) 3月まで	1972年(S47) 4月以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。

＜メーカー問い合わせ先＞075-241-5316

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

松下電器産業

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	不燃性	

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	A F 式	O F 式 N H - A 式 N H - C 式 M P 式 M F 式 S H 式
リアクトル		
トランス	非PCB又は微量PCB機器	

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

4. 製造年月からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 5 3 (S28) 年から 1 9 7 2 (S47) 年 3 月まで	1 9 7 2 年 (S47) 4 月以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合わせ先＞(コンデンサ)0763-33-5510 (変圧器)0561-54-9314

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

日新電機

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 A F 式	P C B 確定条件以外

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	A F 式 A F P 式 不燃性油含浸 三塩化ビフェニール含浸 五塩化ビフェニール含浸	P C B 確定条件以外
リアクトル	不燃油入 A F 式	P C B 確定条件以外
トランス		P C B 確定条件以外
計器用変成器, 放電コイル	型式記号が「A」で始まるもの 不燃油入 A F 式	P C B 確定条件以外

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可 (メーカー調査が必要)	

4. 製造年月からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 7 2 年 (S47) まで	1 9 7 3 年 (S48) 以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。

＜メーカー問い合わせ先＞075-864-8913

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

愛知電機

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃油変圧器 冷却方式 L N A N	

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
トランス	不燃性油変圧器(1965年以前) 不燃油変圧器(1966以降) 冷却方式 L N A N (1966以降)	

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

4. 製造年月からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 7 2 年 (S47) まで	1 9 7 3 年 (S48) 以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
＜メーカー問い合わせ先＞0568-35-1121

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性絶縁油入 不燃性油入 富士シンクロール油入 富士不燃性合成絶縁油入	

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
トランス	不燃性絶縁油入 富士シンクロール油入 カネクロール油入	
計器用変成器, 計器用変流器, 計器用変圧変流器	不燃性油入 富士シンクロール油入 P C B (ポリ塩化ビフェニル) 使用	

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可 (メーカー調査が必要)	

4. 製造年月からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 7 2 年 (S47) まで	1 9 7 3 年 (S48) 以降

※銘板に上記表の表記がない場合でも、PCB使用機器である可能性があります。

ご不明な場合は製造番号、型式、製造年等をお調べいただき、下記問い合わせ先までご連絡を頂きますようお願い申し上げます。

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。

<メーカー問い合わせ先>0120-24-9194

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

北陸電機製造

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油入 不燃性絶縁油入 富士シンクロール油入 カネクロール油入 不燃性合成絶縁油入	

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
トランス	不燃性油入 不燃性絶縁油入 富士シンクロール油入 カネクロール油入 不燃性合成絶縁油入	

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

4. 製造年月からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 7 2 年 (S47) まで	1 9 7 3 年 (S48) 以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。

＜メーカー問い合わせ先＞076-475-1124

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 D F コンデンサ シバノール入	

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器			非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	P F C D	D	～ A K	M P 又は S H と表示されているもの
	C D	S D A B	～ A D	
	N L D	S D B	～ A S T	
	M C D	S D R	S R T - A I N R	
	N C D	～ F C D E	S R T R	
	F C D	～ F C D	S R -	
	S S D	～ S D S	～ E D	
	N H D	～ S D F	～ E D S	
	S D	～ A - - (一部の製品に該当)	～ E D F	

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可 (メーカー調査が必要)	

4. 製造年月からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 7 2 年 (S47) 7 月 まで	1 9 7 2 年 (S47) 8 月 以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
<メーカー問い合わせ先>ケミコン山形株式会社 0238-84-2134

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油入	

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
トランス	型式記号に「・・・U・・・」が含まれるもの（ただし、「UM」の記載のあるものは除く）	型式記号「UM」のもの（ただし、一部PCB含有機器もあり。「不燃性」の表記のあるものはPCB含有）
計器用変成器	P T ・ G P T (1957～1958) C T (1958～1959)	
変成器用ブッシング	MKH, MKEH1, MKEH2	

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

4. 製造年月からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 7 2 年(S47)まで	1 9 7 3 年(S48)以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。
<メーカー問い合わせ先>03-6371-5430

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

中国電機製造

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油入	

2. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	6A001～6A999 S6A001～S6A999 N6A001～N6A999 R6A001～R6A999 SN6A001～SN6A999 SR6A001～SR6A999 PN6A001～PN6A999 AがB, C, D, E, F, G, H, M, X と記載機器もPCB確定。	
	4J001～4J999 4J1001～4J1999 N4J001～N4J999 R4J001～4J999 JがL, N, P, R, Sと記載機器もPCB確定。	
	3T001～3T999 N3T001～N3T999 R3T001～R3T999 SN3T001～SN3T999 SR3T001～SR3T999 TがU, Vと記載機器もPCB確定。	
	NM001～NM999 NM5001～NM5999 5Y001～5Y999 W6301～W6399 W7001～W7999 W8001～W8999 W9001～W9999	
トランス	6K-1081, 6K-1101, 6K-1102 6K2409～6K2412 6K-2383～6K-2386 6K-2828, 6K2829 3780～3790 3849～3856 6K-4398～6K4400 6K-4402～6K4407 6K-4432 6K-4441～6K4443 6K-6772～6K6773 10059 3K-1137～3K1138	

3. 製造年月からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 7 2 年(S47) まで	1 9 7 3 年(S48) 以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。

＜メーカー問い合わせ先＞050-5524-1356

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。

帝国コンデンサ

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 不燃油	

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ	型式記号の第 1 文字が A, B, C, D, E, F で表示のときは P C B 入 例) A F W, C F W	

3. 製造年月からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 7 2 年 (S47) 8 月まで	1 9 7 2 年 (S47) 9 月以降

(注) 帝国コンデンサは、既に廃業してしまっているため、以下の型式に該当しない場合であっても
PCB含有を否定できません。不明な場合はPCB濃度分析を行ってください。

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、
今後追加・変更がありうることを申し添えます。

明電舎

1. 銘板記載事項からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不燃性油 ミュークロール	

2. 型式からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
コンデンサ		
トランス	型式中に「A」 (N I T A X, N I K A X, N I R S A X, N I T S A X, N I T A, N I R A X, N I R G A X, N I R S G A X, N O R A X, N O R S A X Y, N O T A X, N O R A X Y, N I F A, N I F A X, N I L A X など)	
リアクトル		
計器用変圧器	型式中に「A」 (P A X E, P A X)	
計器用変流器	型式中に「A」 (C N P A X, C A P X)	
整流器	S03B-2×2×6 (3VH6030) S03B-2×1×6 (3VH6030) S03B-2×2×6 (2VH6100) S03B-2×3×6 (3VH6126) S03B-2×2×6 (3VH6469) S03B-3×6×6 (1MR5106) S03B-3×6×6 (1MR5107) S03B-4×4×6 (2V6094) S03B-4×4×6 (2V6236)	

3. 製造番号からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器	非PCB又は微量PCB機器
共通	不可（メーカー調査が必要）	

4. 製造年月からの判別

機器の種類	高濃度 P C B 機器の可能性	非PCB又は微量PCB機器
共通	1 9 5 4 年 (S29) から 1 9 7 2 年 (S47) まで	1 9 7 3 年 (S48) 以降

上記内容から判別できない場合はメーカーへお問い合わせください。

＜メーカー問い合わせ先＞055-929-5601

※ この機器の判別基準は日本電機工業会からご提供いただいた情報をもとに取りまとめたものであり、今後追加・変更がありうることを申し添えます。